



令和7年度 第5回

# 弘前大学教育学部附属四校園 合同公開研究会 ご案内（2次）

# 11/15

土曜日



参加料無料

◆小学校：公開授業・協議会（生活科，国語科，社会科，外国語科）

◆中学校：公開授業・協議会（国語科，社会科，英語科）

◆特別支援学校：公開授業・ポスターセッション・協議会・講演会

◇今年度，幼稚園の公開はございません。

※公開授業・協議会・講演会は対面のみの実施となります。

※後日，弘前大学次世代ウェルビーイング研究センターによるオンデマンド配信（限定公開）がございます。

## 主催

弘前大学教育学部附属四校園，弘前大学教育学部，弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻，弘前大学次世代ウェルビーイング研究センター

## 後援

青森県教育委員会 弘前市教育委員会 黒石市教育委員会 平川市教育委員会  
青森県小学校長会 青森県中学校長会 青森県特別支援学校校長会  
弘前市小学校長会 弘前市中学校長会 南地方小学校長会 南地方中学校長会

## 全体研究テーマ「自ら考え，自律的に行動する子の育成」

### 幼稚園

遊びこむ子どもを育む保育  
～環境（ひと・もの・こと）の工夫を通して～

### 小学校

多様性を生かした学びの環境づくり  
～共に学びの主体者に～

### 中学校

一人ひとりの生徒が輝ける学校

### 特別支援

学校と地域でつなぐ子どもの学びのサイクル  
～エージェンシーの発揮に向けて～



小学校

## 小学校・中学校

8:10～  
受付

一般参加者は「小学校実習棟玄関」よりお入りください。

8:30～  
全体会

※小・中学校合同で行います。  
場所は「小学校体育館」で行います。  
※小・中学校の校舎はつながっています。

9:15～ 公開授業 1

### 小学校1学年合同 生活科

「わくわくランドであそぼう」

授業者：岩渕 里美，工藤 理栄，  
大野 雅子

子どもたちが、幼稚園の子たちを楽しませたいという相手意識をもって、いきいきと話し合いをする姿をご覧ください。

場所：小学校第1多目的教室

### 小学校3学年 国語科

「モチモチの木」斎藤隆介 作

授業者：高橋 恵子

友達との対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりする子どもたちの様子をご覧ください。

場所：小学校第3多目的教室

### 中学校3学年 国語科

「故郷」魯迅 著

授業者：駒井 陽子

演劇的手法を用いて、作者と登場人物にせまる生徒の姿をご覧ください。

場所：中学校3年B組教室

10:20～ 研究協議 1

### 小学校生活科

助言者：宮崎 充治（学部）

協同研究者：宮崎 充治（学部）

スタートカリキュラムと関連させ、2学年から得た学びを幼稚園の子たちに向けて試行錯誤する子どもたちの姿をもとに語り合いたいと思っています。

場所：小学校第1多目的教室

### 小学校国語科

助言者：前田 清幸

（弘前市教育センター）

協同研究者：田中 拓郎（学部）

本文をもとに考えを出し合う子どもたちの姿からともに学び合いたいと考えています。

場所：小学校第3多目的教室

### 中学校国語科

助言者：齋藤 貢一

（弘前市教育委員会）

協同研究者：田中 拓郎（学部）

「深い学びを促し、一人ひとりが輝く国語科授業の研究」に迫る実践となっていたか「つなげる・深める・高める・広げる」視点で生徒の学びについて語りましょう。

場所：中学校3年A・B組教室

## 特別支援学校

8:30～  
受付

「特別支援学校高等部玄関」よりお入りください。

8:45～  
全体会

「特別支援学校第二体育館」で行います。

9:15～

## 全校研究 概要説明

10:00～ 公開授業

### 小学部3～6学年 生活単元学習

「古津軽をつなげる旅」

授業者：手塚 公志朗，佐藤 珠美，  
桑原 貞之，千葉 麻奈美

地域にある加藤味噌醤油醸造元の職人から教わった津軽味噌。その魅力を発信するために仲間とともに学び合う姿をご覧ください。

場所：遊戲室

### 中学部1～3学年 作業学習 農工班

「作業内容について、ミーティングしよう」

授業者：三浦 拓也，鎌田 麻里，  
對馬 大成，山崎 雄吾

農工班の作業内容について、生徒同士が対話的活動を通して考えていきます。本授業では、自分の気持ちをお互いに伝え合おうとする姿を目指していきます。

場所：木工室

### 高等部3学年 総合的な探究の時間

「地域貢献プロジェクト」

授業者：久保田 香織，附田 翔太郎

学級で育てたコキアをきっかけに、地域の役に立つために様々なアイデアを話し合います。「地域の人たちのための地域貢献とは何だろう？」というテーマに向き合い、地域の方の声をヒントに自分たちなりの「答え」を深めようとする生徒の姿をぜひご覧ください。

場所：高3教室

11:00～

ポスターセッション  
発表内容については、附属特別支援学校ホームページ（QRコード）よりご確認ください。





## 12:30～ 公開授業 2

### 小学校 6年 社会科

「明治の新しい国づくり  
～鎖国継続と開国のジレンマ～」

授業者：奈良 諒

条約締結という江戸幕府の判断について、様々な背景をもとに児童が深く思考する姿をご覧ください。

場所：小学校第3多目的教室

## 13:30～ 公開授業 3

### 中学校 2年 社会科

「江戸時代の人々の暮らし  
～女性とごきん刺しから考える～」

授業者：森山 智恵美

江戸時代の人々の暮らしについてジェンダーと地域史の視点から考えを深める子どもたちの様子をご覧ください。

場所：中学校2年C組教室

## 14:30～ 研究協議 2

### 社会科

助言者：蒔苗 尚文  
(つがる市立柏中学校)  
協同研究者：大谷 伸治、小瑶 史朗  
(学部)

発達段階やカリキュラムの特質などを踏まえながら、各校種で育むべき資質・能力や授業づくりのあり方について語りましょう。

場所：中学校2年C・D組教室

小学校と中学校の歴史学習はいかに異なり、どう連携すべきなのか提案します。

### 小学校 5年 外国語科

「Unit 7 Welcome to Japan」

授業者：田中 久絵

小中連携を意識した語彙の扱いと授業内容、自分の思いをどう表現するか試行錯誤する子どもたちの様子をご覧ください。

場所：小学校第2多目的教室

### 中学校 1年 英語科

「Unit 8 Think Globally, Act Locally」

授業者：尾張 至伸

ケニアの国や子どもたちについて学習したことを、ケニア人の先生に実際に質問し分かったこと・考えたこと・したいことを英語で表現します。

場所：中学校1年C組教室

### 外国語科・英語科

助言者：長谷川 紘一  
(青森県総合学校教育センター)

協同研究者：佐藤 剛(学部)

自己表現を通して、児童生徒がいきいきと活動する姿に注目して協議を進めます。

場所：中学校1年C・D組教室

小中連携したSmall Talkの取り組み、日本から世界へと視点を広げる実践、さらに「want to ～」を用いた自己表現の3つの視点から提案します。

## 13:00～ 研究協議

### 児童生徒の

### エージェンシー発揮に向けて

— 学校にできること 教師にできること —

※具体的な協議テーマは当日、各学部で設定します。

#### ◆小学部

助言者：加賀谷 紀

(青森県総合学校教育センター)

協同研究者：増田 貴人(学部)

#### ◆中学部

助言者：小田桐 直美

(青森県総合学校教育センター)

協同研究者：菊地 一文(教職大学院)

#### ◆高等部

助言者：森山 貴史

(青森県教育庁 学校教育課 特別支援教育推進室)

協同研究者：天海 丈久、中山 忠政(学部)

## 14:45～ 講演会

ちくりんじ たけし

講師：竹林地 毅 氏

演題「自分らしく生きていく児童生徒を育む  
教育課程と授業」

【プロフィール】

《略歴》

広島県立呉養護学校、広島大学附属東雲小学校(特別支援学級)にて知的障害のある児童を担当。

その後、広島県立教育センター指導主事、広島県教育委員会指導主事、国立特殊教育総合研究所総括主任研究官、広島県教育委員会特別支援教育課長を歴任。広島大学大学院人間社会科学研究科准教授を経て、現在は広島都市学園大学子ども教育学部教授。特別支援教育の実践と研究の両面から活躍されている。

《研究テーマ》

- ・知的障害のある児童生徒の授業と教育課程
- ・キャリア教育・職業教育・生涯学習・表現活動
- ・学習する組織づくり

《近著》

- ・Career and Vocational Education for Special Education Students in Japan: Collaboration between Schools and Local and Thematic-based Communities (Cambridge Scholars Publishing, 2024年)
- ・『これからの特別支援教育はどうあるべきか』(東洋館出版社, 2023年)
- ・『特別支援教育総論 第2版』(北大路書房, 2023年)



閉  
会  
行  
事

## 16:15～





幼稚園



特別支援



中学校

## 申込について

- 1 **11月6日(木)**までに電子チケットサービス「teket」にて、手続きをお願いします。(右のQRコードを読み取り、お申し込みください。)

<https://teket.jp/15117/58044>



## 諸連絡

- 1 本校関係者以外の写真ならびに動画の撮影はご遠慮ください。  
ただし、児童生徒が下校後の板書や教室などは撮影可能です。
- 2 後日、弘前大学次世代ウェルビーイング研究センターでは、オンデマンド配信で授業の様子を公開いたします(限定公開)。  
詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://hirodai-wellbeing.com/>



## 本校への交通手段

### ◆小学校・中学校・(幼稚園)

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

《バス》

- ・学園町線→『学園町』下車・徒歩すぐ
- ・小栗山・狼森線, 自衛隊線(富田大通り経由), 座頭石線→『三中校前』下車・徒歩10分弱

《タクシー》

弘前駅から約10分程度

### ◆特別支援学校

《バス》

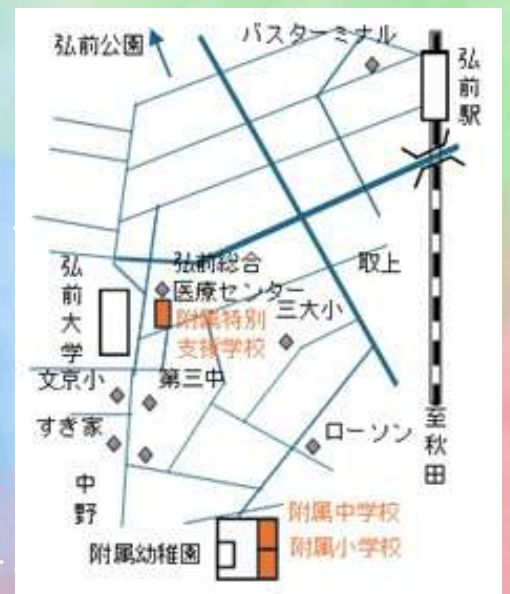
- ・弘前駅から本校まで 弘前駅前3番から乗車「小栗山・狼森線」または「学園町線」→『弘前大学前』下車・徒歩5分

《タクシー》

弘前駅から8分程度

※駐車場場所

詳細は附属特別支援学校ホームページ(QRコード)よりご確認ください。→



## お問い合わせ先

弘前大学教育学部附属四校園

【担当】副統括校長 加賀 恵子

<https://sites.google.com/fuchu.edu.hirosaki-u.ac.jp/public-research-conference>

[info\\_4koen@hirosaki-u.ac.jp](mailto:info_4koen@hirosaki-u.ac.jp)

